

# 『PCA 法定調書シリーズ』

## Ver.1.0 Rev.6.40 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY240909

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

### ◇ 法定調書から会計への仕訳転送ができるようになりました。

下記の新規処理を追加しました。

- 会計連動設定（仕訳作成）
- 仕訳データ設定
- 仕訳データの作成

### ◇ 「前準備」－「会社基本情報の登録」

- 端数処理の方法を、消費税額、源泉徴収税額共通の設定に変更しました。
- 会計ソフトとの連動方法が、「会計データの受入」「仕訳データの作成」から選択できるようになりました。

### ◇ 「受給者」－「受給者情報の登録」

- インボイス関連項目を追加しました。
- 「適格請求書発行事業者情報の一括更新」機能を追加しました。

### ◇ 「明細入力」－「報酬等の支払」

- 仕訳データ連動項目（連動部門など）を追加しました。
- 消費税額を自動計算項目（上書き可）に変更しました。  
それに伴い、消費税額は「消費税額の編集」画面で修正するように変更しました。

### ◇ 「明細入力」－「不動産の使用料等の支払」

- 仕訳データ連動項目（連動部門など）を追加しました。

### ◇ 「随時」－「会計データの受入」

- 仕訳の消費税区分を支払明細に受入できるようになりました。

### ◇ 「ファイル」－「データの保守」

- 会計ソフトとの連動方法についての設定を途中で変更できる機能を追加しました。
- 仕訳データの作成ができなくなった場合に、法定調書の会計連動関連情報をクリアする機能を追加しました。

## ■ 互換性に関する変更点の有無について

### <<データ領域の更新について>>

下記のデータ構造を追加・拡張したため、データ領域のバージョンを「2.40」に更新します。

- 会社基本情報（拡張）
- 受給者（共通）（拡張）
- 税区分（追加）
- 報酬等の支払（拡張）
- 不動産の使用料等の支払（拡張）
- 会計連動設定（仕訳作成）（追加）
- 会計連動設定（仕訳作成）マスター設定（追加）

- 仕訳データ設定ヘッダー（報酬等の支払）（追加）
- 仕訳データ設定ヘッダー（不動産の使用料等の支払）（追加）
- 仕訳データ科目設定（報酬等の支払）（追加）
- 仕訳データ科目設定（不動産の使用料等の支払）（追加）
- 仕訳転送情報（報酬等の支払）（追加）
- 仕訳転送情報（不動産の使用料等の支払）（追加）

#### <<汎用データの更新について>>

会社基本情報のデータ構造を拡張したため、バージョンを「6」に更新します。

- 会計連動方法を追加

受給者情報（報酬等）のデータ構造を拡張したため、バージョンを「4」に更新します。

- 事業者区分、適格請求書発行事業者の登録番号を追加

受給者情報（不動産等）のデータ構造を拡張したため、バージョンを「5」に更新します。

- 事業者区分、適格請求書発行事業者の登録番号を追加

受給者情報（配当等）のデータ構造を拡張したため、バージョンを「4」に更新します。

- 事業者区分、適格請求書発行事業者の登録番号を追加

受給者情報（利子等）のデータ構造を拡張したため、バージョンを「4」に更新します。

- 事業者区分、適格請求書発行事業者の登録番号を追加

受給者情報（非居住者等）のデータ構造を拡張したため、バージョンを「4」に更新します。

- 事業者区分、適格請求書発行事業者の登録番号を追加

報酬等の支払のデータ構造を拡張したため、バージョンを「5」に更新します。

- 税区分コード、連動会計区分/事業区分コード、連動部門/事業/サービス区分コード、連動セグメント1コード、連動セグメント2コード、連動セグメント3コードを追加

不動産の使用料等の支払のデータ構造を拡張したため、バージョンを「3」に更新します。

- 連動会計区分/事業区分コード、連動部門/事業/サービス区分コード、連動セグメント1コード、連動セグメント2コード、連動セグメント3コードを追加